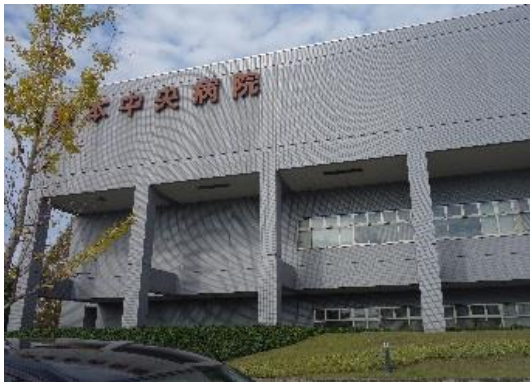


●世界糖尿病デーにちなんで ～他院との合同企画～

11月21日(土)の勉強会は、世界糖尿病デーに伴い、熊本中央病院西田健朗先生のご配慮により熊本中央病院わかさ会の皆様と一緒に講義を聞くことができました。

- [講義内容]
- 1. 糖尿病合併症：糖尿病腎症について 熊本中央病院 腎臓内科 野村先生
 - 2. 便秘症と下痢 熊本中央病院 薬剤部 山崎先生
 - 3. アルコールについて 熊本中央病院 管理栄養士 池田先生



今回の合同企画に患者様5名と職員6名で参加しました。

普段、聞くことのできない腎臓内科の先生から専門なお話を聞くことが出来、糖尿病に対しての自己管理の重要性を改めて学ばせていただきました。又、他施設との合同ということで、よい刺激にもなりました。

中央病院スタッフの皆様お世話になりました(参加スタッフ一同)

世界糖尿病デーとは

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対するために1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議(UN Resolution 61/225)」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。

世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。

世界糖尿病デーのキャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられますが、これは、糖尿病に関する国連決議が採択された翌年2007年から使われるシンボルマークです。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、「Unite for Diabetes”(糖尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。



●今後の行事予定

※下記は、あくまでも予定です。変更になる場合はご了承ください。

月 日	テーマ	講師
2月 6日(土)	治療について	医師
	色々なお薬について	薬剤師

●お問合せ・お申込み

熊本循環器科病院 外来担当看護師(浅野・森村)まで ☎096(378)0345

●入会資格

当院に通院中の糖尿病患者様、並びにご家族

●会費

年間 3,600円(4月1日～翌3月31日)

月額 300円×入会月数(年度の途中で申込みされる方)